

2019年度情報処理学会「業績賞」受賞

2020年6月3日に一般社団法人情報処理学会より、先進技術研究所（現在、クロステック開発部）の寺田 雅之、赤塚 裕人、サービスイノベーション部の石黒 慎^{†1}、深澤 佑介^{†2}は、「防災や交通渋滞等の社会課題解決に寄与する「リアルタイム人口統計」の開発実用化」の功績により業績賞を受賞しました。

業績賞は産業界における顕著な業績を顕彰するため、平成13年度に新設され、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業分野への貢献が明確になったものに対して贈られるものです。

業績賞受賞の対象となったリアルタイム人口統計は、日本初のリアルタイムな国内人口分布統計です。約7,800万ユーザの通信を支える日本全国の携帯電話ネットワークの運用データから、日本全国の人口分布の推移を500mメッシュ単位で10分ごとに推計することができます。携帯電話ネットワークの運用データを用いた統計情報としては「モバイル空間統計」がすでに実用化されていますが、上記の高精度・リアルタイム性を実現するため、新たに大規模データの高速計算技術、時系列データ解析技術を確

立しました。加えて、ビッグデータの活用における最重要課題である「ビッグデータの活用とプライバシー保護の両立」の解決に向け、差分プライバシーと呼ばれる数学的安全性を備えた大規模データ向けプライバシー保護技術を確立しています。また、本統計の各産業分野への応用実績（AI渋滞予知、AIタクシーなど）では、リアルタイム人口統計と幅広い業界のデータを、AI予測モデルにより統合することで、渋滞予測精度の大幅な向上やタクシー需給の最適化、飲食店オペレーション最適化、シェアリング自転車の最適再配置などを実現し、日時によるデータ変動の激しい業界において高い実用価値を示しています。

これらの取組みにより、幅広い産業界での本統計の有用性を証明し、本統計がさまざまな社会課題を解決する新たなデータインフラとなる可能性を示したことが評価され、今回の受賞となりました。

†1 現在、クロステック開発部

†2 現在、総務部

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

